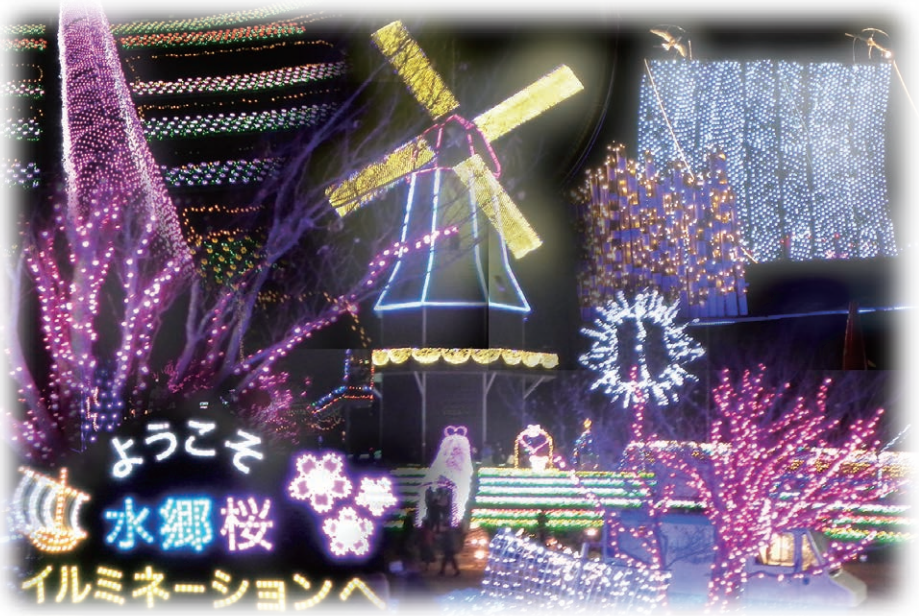
Rotary 第2820地区
Tsuchiura South Rotary Club Weekly Report 編集 土浦南RC会報委員会

土浦南ロータリークラブ 週報



土浦の宝物⑥　土浦の冬の宝石「水郷桜イルミネーション」

会長 清野 宏之　幹事 阿部 彰
■ 例 会 場　ホテルマロウド筑波 TEL.029-822-3000
■ 例会日時　火曜日　12:30～13:30
■ 事 務 局　土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
■ ホームページ　http://tsuchiura-src.jp
■ Eメール　info@tsuchiura-src.jp

2019～2020年度
国際ロータリーテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

2019年12月24日　21号

2019年12月17日　第3例会報告

地区HP　地区行事予定

1．点　　鐘　清野会長
2．国歌斉唱
3．ロータリーソング斉唱
（奉仕の理想）
4．来賓紹介　清野会長
5．幹事報告　阿部幹事
6．ニコニコＢＯＸの発表　小城副ＳＡＡ
7．出席状況報告　出席委員会
8．ガバナー卓話
地区ガバナー　中村　澄夫様
9．点　　鐘　清野会長
10．ロータリーソング斉唱
（それでこそロータリー）
（司会進行　塚﨑ＳＡＡ）

本日のプログラム
2019-20年度上期最終例会でございます。会長よりご挨拶を頂きます。

次週のプログラム
2019-20年度下期初例会は，2020-21年度理事役員発表に続き、海老原会長エレクトより抱負を伺います。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メークアップ	出席訂正率
名	名	名	%	卓	卓	名	%
95	75	7	81.52	1・4	3・5・7・9	5	86.96

【ガバナー公式訪問会長挨拶】

清　野　宏　之　会長

皆さんこんにちは。

本日は待ちに待ちました中村澄夫ガバナー公式訪問の日でございます。

改めまして，中村澄夫ガバナー，清水繋地区幹事，富永副幹事，渡邊弘明ガバナー補佐，永田弘見ガバナー補佐セクレタリーようこそお出でいただきました。歓迎いたします。

さて，中村澄夫ガバナーにおかれましては今日が52番目の公式訪問になられるとお聞きしております。さぞかしお疲れかと思いましたが，大変お顔の色つやもよく絶好調ということでして，今日は何時までも私どもクリスマス家族懇親会にお付き合いいただけるとのお話のようです。

またお楽しみの前にクラブ協議会・ガバナーとローターアクト・インターアクトとの懇談会が午後から行われます。クラブ協議会では24の委員会の委員長が委員会活動と日頃感じている疑問や今後の問題点について報告するとともに，中村澄夫ガバナーよりご指導をいただくことになります。長丁場になりますが，ご指導宜しくお願い申し上げます。

クラブ会員・家族皆で本日を楽しく盛り上げて参りたいと思います。皆様どうぞ宜しくお願いをいたします。ありがとうございました。

【ガバナー卓話】

地区ガバナー　中　村　澄　夫　様

皆さん，こんにちは。東海那珂ロータリークラブの中村と申します。

ガバナー公式訪問ということで，土浦南ロータリークラブに参りましたが，私は今までの経験の中でこんな素晴らしいクラブにお邪魔したのは初めてのような気が致します。

これまで片岡パストガバナーに大変お世話になりながら，この務めをしているという状況でありますが，ガバナーに指名されたのは2年半前でした。その当時，私はガバナーになるとか，なりたいとか思っている会員ではありませんでした。たまたま，指名をされまして，自分の逃げ場がなくなってしまい就任したというのが実態であります。

その当時，ロータリーに対する考え方とか，事の進め方とかはかなり低い部分でありました。指名を受けて以来，自分なりに頑張って学んで参りましたが，ロータリーの広さ，そして深さ，そうした多くの部分が不理解で過ごしてしまいました。

そんな中で，まず一番役に立ったのが今年の正月，アメリカのサンディエゴで開かれました国際協議会でした。それには，世界から540名のガバナーエレクトが夫人同伴で出席しました。その時に今年度のマーク・ダニエル・マローニー氏が承認され，彼は今年度のロータリーのテーマとして，「ロータリーは世界をつなぐ」ということを述べられました。

そうしたことをベースにしながら，１週間の研修でした。毎日午前中は全体会議ということで世界から集まった仲間と一緒に様々なテーマに沿って話をし，午後にはＲＩ会長や役員の方々の発言をテーマとして日本から参加しました34名のエレクトで，ロータリーに対することを多々に語り合い，学んだ事が，今ガバナーを務める上で大きな柱になっている事は間違いございません。

その中で，最も大きかったのは，何と言いましてもマーク・マローニ氏から「人々，そして，またロータリアンは多くの人とのつながり，それをベースにしてつながっていく」という，素晴らしい言葉を聴くことが出来た事です。

３月には，この2820地区の会長・幹事をはじめ多くの方とご一緒する３大セミナーが開かれました。それに向かいまして，私は地区のスローガンとして「人，学びて更なる奉仕」というのを掲げました。それは，ＲＩ会長がおっしゃっているように，ロータリアンは多くの人と学びながら，人も知り，人を知り，人と学び，いろんな人と出会うときは機会があると思います。そうしたことを生かしながら，個人としての力を高め，また，ロータリアンとしての知識を得ていくことがいかに大切かということ皆さんにご理解を頂き，そうした考えをもって説明をさせて頂いた次第でした。

私は今から50数年前東京のある会社に勤めておりました。その社長は東京でも有数の資産家でした。またロータリアンとして毎週例会に出席する際，秘書課の方達に送り出される姿を私はずっと見ておりました。ある時，社長とお話をする機会があり質問をしました。「あんなに一生懸命に行っているロータリーとは何のでしょうか？」すると社長はもちろん奉仕ということも話してくれましたが，それと「う～ん，学ぶところだな，学べるところだな」ということを話してくれました。５年ほど勤め，体を壊してしまって，会社に勤めることが出来なくなってしまい，田舎に帰って参りました。

我が家は，地域に伝わっている苗木の生産にかかわっている家でありまして，私も苗木をつくったり，樹木を管理したりの仕事になりました。そして20数年経った時に，たまたま，東海那珂ロータリークラブから誘われ，入会はさせて頂きましたが，果たしてどこまで出来るか全く自信もありませんでした。当時，東海村は原子力が大変盛んな時代でありまして，それにかかわる方，職種の違う方との交わりという観点からロータリーの事，そしてまた，職業の事を学ばせて頂きました。その中でロータリーの重さ，ありがたさを感じて，その後辞めずに今まで30年近くの年数を重ねて参りました。

思い出しますと，東海那珂ロータリークラブは，今から23年前の1997年から設立10周年の記念として何か事業をしたいと考え悩んでいる時に，会津若松の登山家の方と知り合いになりました。その方を通し，エベレスト登頂に挑戦し，ネパールの物運び「シルパ」の方が何人か亡くなっているという悲しい事実を知りました。登山家として何かしなくてはいけない，何かしてあげようという事で気がついた事が，「子ども達に対する教育の支援」ということで始まった活動が「ネパールの学校支援」だったそうです。

そのお話を聞きまして，私と，清水さんとクラブの皆さんといろいろ話しまして，それに参

加しようと決まりました。その指定された学校は，ネパールの首都カトマンズからチベットのほうに 120km ほど行った急激な傾斜の村にある 4 つの教室しかない小さな学校でした。

ネパールという国は日本の教育制度と大きく違いまして，日本では住む場所によって，公立の小中学校は行く学校が決まっていますが，ネパールは民族であったり，宗教であったり，経済力であったり様々な状況に応じて，どこの学校でも通うことが出来ました。

我々が支援した学校は仏教系を主にした学校でした。それでも 4 つの教室ではとても足りず，学校から何とか増やしてほしいという要望が伝わって来ました。そこで，10 周年の為にと貯めておいたお金を活用して，一年がかりで学校を作りました。それが当時珍しい煉瓦作りの 8 教室の学校でした。当然そうなりますと，近くから通いに来る子供たちも増え，その支援は 23 年間ずっと継続して行い，村の中でもかなり大きな学校となり，ネパールの国によって表彰を頂けるような学校にまでになりました。ロータリーで行った事業は価値があったと思っております。

そうした経緯の中で今から 10 数年前，お父さんが病気で亡くなり，お母さんも病気でまともな仕事ができない家庭の 5 年生の子どもの支援について，クラブで相談した結果，小学校 5 年生から支援を継続してまいりました。大変優秀な生徒でカトマンズで一番有名な大学に進学し大学院にまで進み，一般的な教養と，法律というものを勉強しました。ネパールは，10 数年前まで王様制度があった国でしたが，内部紛争があり王様政治は崩壊しました。王様制度の時代の法律は，現在は使えなくなってしまった部分が多いようで，新しい憲法，法律を作るという立場で彼は政府の一員として研究者として頑張っています。そして今年の 4 月何人かの仲間と日本にやって来ました。日本の政治，弁護士団体の本部や関連施設，大学等で多くの人と接しながら日本の法律を学び帰国しました。彼はいつも，日本のロータリーにお世話になってこのような立場になれたという事を生きていく上で大きな誇りとしています。

様々な経験から，ロータリーの奉仕というのは，年数を限りながら行っている部分が多いと思いますが，人間の成長を支援するという点では，ある程度年数を継続するのが良いのではないかと，個人的には考え，今でも継続しているという事を，皆さんに知って頂き，地区としてもそのような活動があれば支援していきたいと考えております。

そうしたことで，国際奉仕，社会奉仕，いろいろな奉仕がロータリーには迫って来ていますが，ケースバイケース，クラブで考えられる事，分区で考える事，地区で考える事，あるいはロータリー全体で考える事等々の観点から検討し支援を継続して頂ければありがたいと思っております。

そして，最初からご挨拶しました通り，このような大勢の方々大変な多くのメンバーで作られた組織を，今後もより発展させ，立派な実績をつくって頂く事を，祈念しながら今日の卓話にさせて頂きたいと思います。本当にありがとうございました。

【懇親会挨拶】

清　野　宏　之　会長

皆さんこんばんは。

これからは毎年恒例のクリスマス家族懇親会に移ります。

今日は奇しくも中村澄夫ガバナーの公式訪問の日です。つい先程まで例会，クラブ協議会，ガバナーとローターアクト・インターアクトとの懇談会とハードなスケジュールを中村澄夫ガバナーと皆様でこなして参りました。お疲れ様でした。

これからは懇親会となりますので，会員・家族の皆様とリラックスしてお過ごし頂ければと思います。今回は家族の皆様22名をお迎えしております。師走のお忙しい中ご参加ありがとうございます。どうぞゆっくりと美味しい料理とアトラクションをお楽しみください。

また，アトラクションといえば我がクラブが誇るサンザンオールスターズがサザンオールスターズではありません。渡邊ガバナー補佐が公式訪問前の訪問の際驚いておられました…既にスタンバイＯＫということですのでお楽しみに！

あともう少しです…皆様元気よく大いに楽しんでください。ありがとうございました。

中村ガバナー公式訪問・クリスマス家族懇親会

中村ガバナー卓話

ご来賓

バナー贈呈

クラブ協議会

ＲＡＣ・ＩＡＣ懇談会

司会

親睦活動委員会

稲野邉直前会長乾杯

本橋会員より帆引き船贈呈

若山家

鈴木(常)家・山口家

稲野邉家

溝口家

サンザンオールスターズ

海老原副会長中締